

日本臨床催眠学会第 26 回大会 1 号通信

2026 年3月24 日発行

【大会長挨拶】

大会長 水谷みゆき（愛知医科大学疼痛医学講座・疼痛緩和外科いたみセンター）

日本臨床催眠学会第 26 回大会を令和 7 年 10 月 3 日（土）から 4 日（日）の 2 日間、名古屋のウインクあいちにおいて開催することになりました。今大会のテーマは「からだの痛み、こころの痛み」です。

“催眠”というと、20 世紀初頭に最も早く生まれた心理療法としてこころの痛みに向きあってきたことが知られていますが、実はそれよりも早く 19 世紀に入る前の、まだ医学が麻酔や鎮痛薬といった治療手段をもたない時代から、からだの痛みの治療にも使われてきました。

さらに最近では、これまで心因性などとされてきた痛みにも身体的な基礎や痛み以外の身体症状の併存が認められ、痛覚変調性疼痛と呼ばれるようになりました。こうした痛みには決定的な治療法がないとされ、非常に難治な慢性疼痛とトラウマとの関連が痛み治療の場でも語られ始めています。こうした状況において催眠はからだの痛み、こころの痛みにも苦しむ患者を支えるための安全な場を作り出し、治療に役立つことが期待されます。

そこで、学会員にはこの領域への関心をさらに高めていただき、また、学会外の専門家にはこうした催眠の実際を知っていただきたいという願いから、大会では、痛み治療の専門家による招待講演、痛みに関する催眠研究についての教育講演をお願いすることにしました。研究発表は痛みに限らず、トラウマや幅広い領域での催眠についてご応募ください。

まだ会員でない先生方も大会での議論を十分に楽しんでいただけますように、本大会に先立ち、大会テーマにも関連する催眠の臨床適用についての動画を配信できるよう計画しております。今からカレンダーに書き込まれ、日本のど真ん中と言われる名古屋にお越しください。新幹線駅からも歩いて 10 分以内の会場で、皆様のお越しをお待ちしております。

【日時】

技法研修会 10月3日(土) 10:00~17:00 (研修単位6時間)

- ・ 初級：催眠誘導の基礎 川嶋新二先生(大学通り武蔵野催眠クリニック)
- ・ 中級：疼痛マネージメントの催眠技法：催眠鎮痛 水谷みゆき先生(愛知医科大学病院 疼痛緩和外科・いたみセンター)

学術大会 10月4日(日) 10:00~17:00

大会テーマ 「からだの痛み、こころの痛み」

内容：招待講演・教育講演・一般演題・大会長講演

プレコングレス動画 オンデマンド配信によるワークショップ

【会場】

ウイנקあいち

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

※ 会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

【今後のスケジュール】

- ・ 5月上旬 ホームページ公開
- ・ 6月21日 参加申し込み開始・一般演題申し込み開始
- ・ 8月23日 一般演題締め切り
- ・ 8月4日 プレコングレス動画配信開始
- ・ 9月6日 抄録集発送
- ・ 9月18日 申し込み締め切り
- ・ 10月3日 技法研修会
- ・ 10月4日 学術大会
- ・ 11月1日 プレコングレス動画配信終了

※ 予定は前後することがあります。ご了承ください。

【お問い合わせ】

大会事務局(大谷): jsch26th.nagoya@gmail.com